

第 506 回 （1 2 月定例）福崎町議会

福崎町長 尾 崎 吉 晴

皆さん、おはようございます。本日は、第 506 回定例会を招集しましたところ、全員のご出席を賜りありがとうございます。

本年も残すところ 1 か月を切りましたが、今年も新型コロナウイルスに悩まされた年になりました。これから本格的な冬に向かいますが、感染者数が徐々に増加していますので心配しています。また、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されています。今一度、基本的な感染予防対策として、適切なマスクの着用、手洗いと消毒の励行、効果的な換気などを呼びかけてまいります。

新型コロナウイルスワクチン接種については、オミクロン B A 5 対応型のワクチン接種も始まっています。ワクチン接種により重症化を防ぐことができると示されていますので、対象の方は是非接種を検討していただきたいと思います。

今年の 7 月に参議院議員通常選挙が終わり、自由民主党が議席を減らさなかったことから、今後 3 年間、岸田内閣は選挙の心配のない安定した政権運営ができるといわれていました。しかしながら、政界は一寸先は闇だとよく言われますが、まさにそのような状況になっています。

選挙期間中に安倍元首相が凶弾に倒れ、国葬を実施するということになりました。一旦は国民の支持を集めたように見えたようですが、旧統一協会との関係が問題となり、世論は国葬反対に傾きました。また、この状況を打開するために内閣改造を行ったのですが、少なくない閣僚が旧統一教会と何らかの接点があると大きな問題になっています。今の臨時国会でも議論となっており、なかなか収まる気配が見えません。

そのような状況の中、臨時国会において、岸田首相が所信表明を行いました。最重要課題として、1. 物価高・円安への対応、2. 構造的な賃上げ、3. 成長のための投資と改革、の 3 点が経済政策の最重要課題として掲げられております。また、約 29 兆円の令和 4 年度補正予算第 2 号が今まさに審議中でありますので、注視してまいります。

さて、今年から来年にかけて、福崎町第 6 次総合計画の策定に取り組みます。総合計画は、今後 10 年間の道しるべになるものです。進む方向が間違っていれば大きなロスになりますので、町民の皆様の声をしっかりと聞きながら、福崎町の将来像を明確に示してまいります。

令和2年8月に雑誌「アエラ」特集号で、「コロナ時代の移住先ランキング」が特集され、福崎町は近畿地区1位となりました。皆様の記憶にもあると思います。そこに新しいニュースが飛び込んできました。10月下旬に大手賃貸不動産業者が行ったアンケートによる「街の幸福度ランキング 2022 自治体兵庫県版」で福崎町が第1位になりました。理由としては「福崎町は衣、食、住に困らず生活でき、健康の心配もない。特に大きな悩みもなく元気に暮らせている」とか「仕事があり、友人がいて家族と一緒に楽しく住むことができている」などの意見が寄せられていました。一つ一つはささやかなことかもしれませんが、町民の皆様が幸福を感じる条件がバランスよく揃っている町として、高い評価をいただいているのではないかと嬉しく思っているところです。

私がめざしているのは、子どもたちがのびのびと育ち、若い世代がはつらつと働くことができ、高齢者が生き生きと暮らせる住みよい町です。もし、病気になっても安心してお医者様に見てもらえる、安心安全な町づくりを進めてまいります。

続いて、各課からの所管事項報告です。

【総務課】では、令和5年度採用 職員採用試験の第2次試験を11月8日に実施しました。一般行政職は4人が受験し3人が合格となりました。保健師は2人が受験し1人が合格、保育教諭は4人が受験し4人が合格となりました。

会計年度任用職員の募集について、町広報誌、回覧文書などでお知らせしていますが、募集期間は12月14日から28日まで、試験日は1月6日です。

次に、選挙管理事務についてですが、選挙人名簿の定時登録者数は、12月1日基準日現在、男子7,361人、女子8,073人、計15,434人となり、前回の9月基準日より13人の減となっています。なお、福崎町長選挙執行予定日については、選挙管理委員会で令和5年4月23日と決定いたしました。

【企画財政課】です。11月10日に職員で構成する第1回福崎町総合計画策定委員会を開催し、第6次総合計画の策定体制や策定指針、住民等アンケート調査等について協議を行いました。今後1年間かけて第6次総合計画を策定していきます。

11月14日に令和5年度予算編成指示会議を開催し、予算編成方針を通知しました。私からは、国が示す施策には今後注意を払いながら、また、福崎町の将来の道筋をしっかりと見据え、特に教育環境の充実と子育て支援施策を念頭に置いて予算組みするよう指示しました。

【 税務課 】では、10月31日に第3回滞納整理対策委員会を開催し、上半期収納状況についての報告の他、合同徴収対象者収納状況、法的措置及び滞納処分について協議しました。11月10日には合同臨戸訪問を実施しました。

今後、年末にむけて町税滞納者を対象に、姫路県税事務所と合同で一斉催告を行います。これに対して何の反応も示さない方に対しては夜間電話催告を実施し、それでもなお連絡の取れなかった方などを対象に、夜間臨戸徴収を実施することで滞納額の減少に努めます。

【 地域振興課 】です。第47回福崎秋まつりは、10月29日に実施しました。3年ぶりの開催となり、晴天の中、約3,000人の来場で大いににぎわいました。商工会を中心とした産業祭やミスタータイガース掛布雅之氏による文化講演会、その後、ふるさと大使アルミカンによる就任記念漫才が行われました。また、今年も友好都市である岩手県遠野市から、多田市長をはじめ市の職員の方々にお越しいただき、特産品等のPRと販売をしていただくなど、交流を深めました。

新型コロナウイルス感染症の長期化や物価高騰により、影響を受けている町民の生活支援と打撃を受けた町内店舗の売上応援、そして、地域の活性化を図るため、地域活性化商品券(福咲スマイル商品券)を12月中旬から配布します。全町民に1人当たり5,000円分の町内登録店舗で利用できる商品券で、利用期間は12月20日から令和5年3月末までとなっています。

妖怪ベンチ事業では、12月22日に洗濯狐(せんたくぎつね)の妖怪ベンチが完成予定で、記念すべき20基目の妖怪ベンチとなります。

【 住民生活課 】では、消防団非常呼集訓練を11月6日、早朝に実施し、秋季全国火災予防運動に先駆け、町内防火パレードを実施しました。

第33回自然歩道を歩こう大会を、11月23日、3年ぶりに東コースで実施しました。あいにくのお天気でしたが、73人の参加がありました。

12月1日から10日まで、年末の交通事故防止運動を展開し、各種のキャンペーンを実施しています。

12月26日から30日まで消防団年末特別警戒を実施します。また、消防団出初式を来年1月8日に田原小学校で開催します。

【福祉課】では、10月28日に開催した老人グラウンドゴルフ大会は、晴天の中36チーム、213人の参加があり、盛大に実施することができました。

12月3日から9日までは障害者週間で、3日には、さるびあドームでふくさき障がい交流フェスタを開催します。ステージイベントや障がい者スポーツ体験などを通じて障がいに対する理解を深め、誰もが個性を尊重しあえる共生社会の実現をめざします。

【ほけん年金課】です。食育イベントを、福崎秋まつりにおいて実施し、食育スタンプラリーや食生活についての栄養診断などを行いました。

11月6日と13日に、今年度最後のまちぐるみ健診を実施しました。今年度は全体で2,501人が受診されました。

新型コロナウイルスワクチン接種は、初回接種が完了した12歳以上の方へのオミクロン株対応ワクチンの接種を進めており、接種率は27.2%となっています。

高齢者のインフルエンザ予防接種については、1,500円の個人負担をいただき実施しています。ただし、町民税非課税世帯は無料としています。また、中学3年生までの子どもに対する、インフルエンザ予防接種費用の一部助成を引き続き実施しています。

【農林振興課】では、10月19日、エルデホールにおいて神崎郡農業委員会協議会研修会が約60名の参加のもと開催され、農用地の効率的な利用を図るための地域計画の策定などについて学びました。

福崎町特産のもち麦振興に関する取り組みを行うため、神戸医療未来大学、株式会社寺尾製粉所と産官学連携協定を12月9日に締結します。

松くい虫被害により長期間放置された枯れ松を伐倒処理することで、地域の景観維持を図る景観伐倒対策事業を福田地区の山林において実施します。また、ナラ枯れの伐倒処理を東田原・大貫地区の山林で着手します。

【まちづくり課】です。町道福崎駅田原線および千東新町線については、道路の詳細設計もほぼ固まりました。今後は事業用地の取得など令和7年度末の供用開始に向け、事業を推進していきます。

橋梁補修では、福崎町橋梁長寿命化修繕計画に基づく定期点検を実施しています。

防災・減災対策として、県では、市川の堆積土砂の撤去工事について実施予定であり、町では、直谷川において堆積土砂撤去を実施しました。今後も市川水系の安全対策について、国・県に対して要望を続けてまいります。

都市計画では、市街化調整区域における活性化対策として、特別指定区域の見直し作業を行っており、地元区の意見を反映させるため、希望される集落において、意見交換会を実施中です。

J R福崎駅のバリアフリー化事業は、J R西日本において、跨線橋エレベーター2基の設置工事が実施されています。令和5年3月中に竣工し、供用開始予定です。

【 上下水道課 】です。水道事業では、三宮配水池送水管更新工事の詳細設計及び水道料金体系見直し検討業務を進めています。

雨水幹線整備では、川すそ雨水幹線工事（その11）が完了し、引き続き同工事（その12）に着手しています。また、直谷第2雨水幹線工事においては、農繁期及び出水期のため中断していた工事を、10月中旬から再開しています。

浄化センターの公園施設整備事業は、プロポーザル方式にて選定を行った結果、タカオ株式会社と契約を締結しました。工事は年度末に完成予定で、子どもたちの生き生きとした笑顔を思い浮かべながら、魅力ある大型複合遊具を設置していきたいと考えています。

【 学校教育課 】では、本日から4日にかけて、アクリエひめじで開催される「第10回科学の甲子園ジュニア全国大会」に福崎東中学校の生徒3人が兵庫県代表として、県立大学附属中学校との合同チームで出場します。健闘を期待したいと思います。

福崎西中学校、福崎東中学校、田原小学校のトイレ洋式化工事が完了し、児童生徒が大変喜んでくれています。高岡小学校、福崎小学校南校舎、八千種小学校のトイレ洋式化工事の実施設計業務も令和5年度の工事実施に向けて準備を進めています。

【 社会教育課 】です。大庄屋三木家住宅では、「松岡五兄弟からの手紙」と題した特別展を11月30日まで開催しました。この特別展では、三木家の現当主から新たに寄贈を受けたこれまでに知られていなかった資料も展示しました。

歴史民俗資料館では、神崎郡唯一の郷土新聞である「神崎タイムス」の記事から、福崎町の移り変わりを読み解く特別展「神崎タイムスにみる福崎—うつりかわる暮らし—」を12月4日まで開催しています。

人権・青少年健全育成フェスティバルを12月3日文化センターで開催いたします。

人権ポスターや標語の展示、小中学生の主張・体験発表のほか「怒られ力と心に響く怒り方」と題した講演を予定しています。

令和4年度の二十歳のつどいを、来年1月9日、成人の日に文化センターで開催します。企画運営につきましては、各中学校から紹介を受けた10人で組織する実行委員会において検討いただいているところです。

さて、今議会に提出いたします議案等につきましては、報告4件、議案16件の計20件です。

(略)

以上、専決処分の報告が4件、人事案件が2件、条例改正が6件、補正予算が7件、その他1件の全20件となっています。

詳細説明は、副町長及び担当課長が行いますので、ご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます、冒頭あいさつといたします。